

鳥獣保護管理調査コーディネーター募集要項
(令和4年度)

令和4年9月

環境省

【令和4年鳥獣保護管理調査コーディネーター募集要項目次】

〔 1 〕 鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要	1
〔 2 〕 申請から登録までの流れ	2
〔 3 〕 申請の際の注意	3
〔 4 〕 応募方法	4
〔 5 〕 登録要件	5
〔 6 〕 対象鳥獣	6
〔 7 〕 審査方法	6
〔 8 〕 課題小論文	7
〔 9 〕 注意事項	7
〔 10 〕 個人情報の取扱いについて	8
〔 11 〕 登録期間及び更新	9
〔 12 〕 問い合わせ先	9
◎鳥獣保護管理調査コーディネーター登録申請書様式集	10～15
◎鳥獣保護管理調査コーディネーター登録申請書の記入要領	16～21
◎知見審査（小論文）の書き方ポイント	22
◎提出書類チェックシート	23～24

※提出書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。郵送する前に必ずP24のチェックシートを利用してご確認下さい。

〔 1 〕 鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要

◎鳥獣保護管理に係る人材登録事業とは

近年、イノシシやニホンジカなど特定の鳥獣や外来生物の個体数の増加や生息域拡大等により、生態系や農林水産業等への被害が深刻化し、集落への出没や人家侵入などの生活環境被害や人身被害が発生しています。

このため、全国的、広域的、地域的それぞれの視点から関係者間の合意形成を図りながら、第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画等（以下「特定計画等」という）、科学的な知見に基づいた計画的な管理を推進する必要があります。

そこで、環境省（以下「当省」という）では鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程に基づき、専門的な知識や経験を有する技術者を鳥獣保護管理の専門家等として登録し、鳥獣保護管理に関する事業を実施しようとする地方公共団体や農業団体等の要請に応じて、登録者についての情報を紹介する取組を実施しています。



◎登録の対象者と登録者の情報提供

鳥獣保護管理に係る人材登録は、地方公共団体が策定する特定計画等の策定及び実施に係る助言を行う「鳥獣保護管理プランナー」、鳥獣保護管理の現場において適切な捕獲方法の指導や集落等への鳥獣の出没対策や被害防止対策等の助言や指導を行う「鳥獣保護管理捕獲コーディネーター」、そして特定計画等に必要となる生息状況等の調査を行いその取りまとめを行う「鳥獣保護管理調査コーディネーター」の3つの専門分野に区分されています。

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター及び鳥獣保護管理調査コーディネーターとして登録されると氏名、連絡先の名称及び役職、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報が、ホームページ等により公表されます。また、登録者の連絡先等の情報は環境省自然環境局に備えるデータベースに記載され、鳥獣保護管理に関する事業等を行おうとする地方公共団体などの要請に応じて、情報を提供します。

◎鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター及び鳥獣保護管理調査コーディネーターに期待される役割

各分野の登録者には、鳥獣保護管理を実施しようとする地方公共団体や農業団体等に対して、鳥獣保護管理に関する取組等について専門的な知識や経験に基づく助言等を行うことが期待されます。

登録者の専門分野とその役割

鳥獣保護管理プランナー	鳥獣保護管理に関する計画の策定や策定のための助言を行う。
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター	鳥獣保護管理の現場において、効率的な捕獲技術や被害防除の指導を行う。
鳥獣保護管理調査コーディネーター	鳥獣保護管理に関する計画を策定するための調査や計画実施後のモニタリングを行う。

※この事業は、鳥獣保護管理に係る専門家に関する情報を提供するものであって、登録によって公的な資格や権利が付与されるものではありません。また、登録された方について活動の場を保証する制度ではありません。

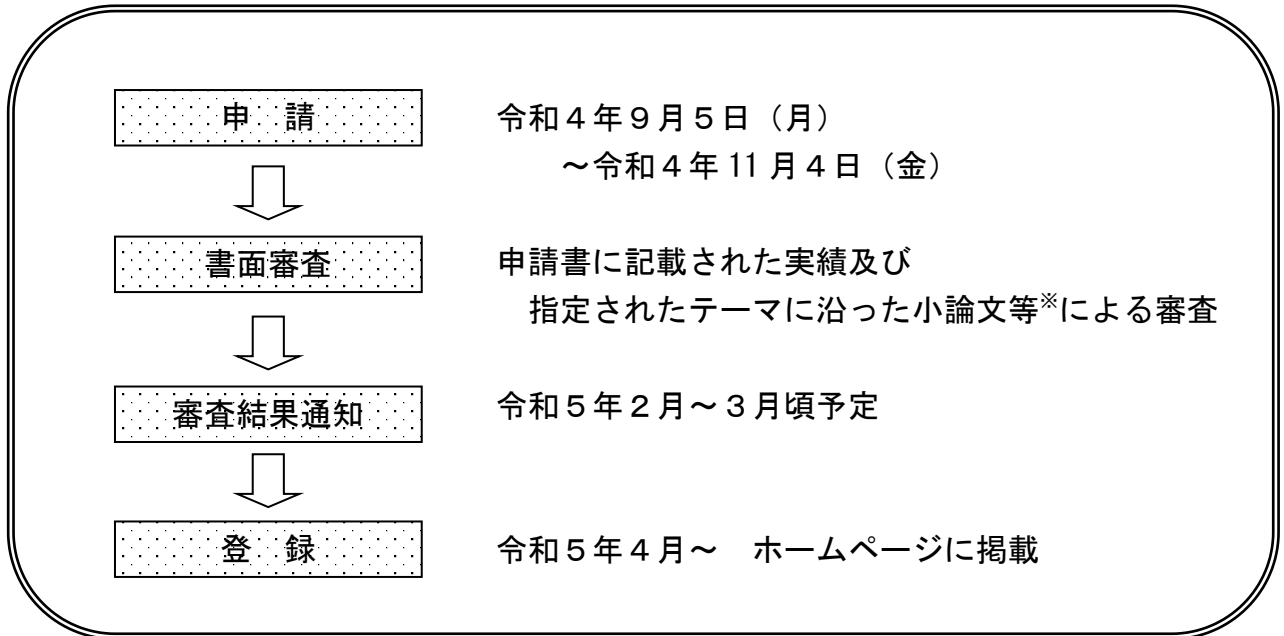
◎民間資格等との連携

本事業では、専門家の活用をさらに促進させる観点から既存の民間資格・認証制度との連携を進めています。相応の知見が担保されている申請者については、知見（小論文）審査を免除する場合があります。

〔 2 〕 申請から登録までの流れ

鳥獣保護管理に係る人材登録への申請者は、申請期間中に、必要事項を記載した所定の申請書及び各分野で指定されたテーマに沿った課題小論文の提出が必要です（知見審査が免除になる資格があります*）。

提出された書類及び小論文は審査会によって書面審査を受け、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有する者として所定の要件を満たした場合、環境省自然環境局に備える登録簿に登録され、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業登録証」が交付されます。



※知見（小論文）審査の免除

一般社団法人鳥獣管理技術協会及び一般社団法人エゾシカ協会が認定した以下の資格との連携を図り、知見（小論文）審査は免除となります。

連携する民間資格等	取得内容	知見審査免除の専門分野
鳥獣管理士	1級 準1級	鳥獣保護管理プランナー 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 鳥獣保護管理調査コーディネーター
シカ捕獲認証	DCC1	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 鳥獣保護管理調査コーディネーター

〔 3 〕 申請の際の注意

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、鳥獣保護管理調査コーディネーター全てにおいて、以下の各号に該当する者は、登録申請はできません。

- 1 未成年者
- 2 成年被後見人又は被保佐人
- 3 鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第十三条の規定により登録を取り消され、その日から三年を経過していない者
- 4 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律又は同法に基づく命令の規定に違反して、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から三年を経過しない者

〔 4 〕 応募方法

◎ 手数料

申請に係る手数料は無料です。

◎ 提出書類

- ①申請書（P 1 1～P 1 2 参照）
- ②申請書添付資料（別紙 1－3）（P 1 3～P 1 4 参照）
- ③課題小論文（P 1 5 参照）もしくは連携する民間資格等の登録証明書または認定証のコピー
- ④審査結果通知用封筒（長形 3 号封筒）に申請者の連絡先、氏名を記入し、84 円切手を貼付して下さい。）

提出書類は、①～③× 4 部（P 2 4 参照）

【原本 1 部＋副本（原本をコピーしたもの）3 部＝計 4 部】

④審査結果通知用封筒 1 通（切手を貼付のこと）

※申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。この募集要項の最終ページにある提出書類チェックシート（P 2 4 参照）を利用して必ず提出書類をご確認下さい。特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。

※複数の専門分野を申請する申請者の場合は専門分野ごとに、上記書類をそろえて提出して下さい。

※原本は片面コピーで作成してください。

※副本のうち、提出書類①～②は両面コピー可ですが、提出書類③（小論文）は片面コピーで作成してください。

※パソコン又はワープロで作成することが望ましいですが、手書きでも可です。手書きの場合はこの募集要項をコピーし、青又は黒ボールペンを使用して作成して下さい。

※ホッチキス・感熱紙は使用しないでください。

※提出書類は一切返却いたしません。

◎ 申請書の入手方法

下記ホームページから募集要項をダウンロードして下さい。用紙の大きさは必ず A 4 サイズとして下さい。

<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1.html>

◎ 受付期間

令和4年9月5日(月)～11月4日(金) (締切日の消印まで有効)

◎ 送付先

受付は郵送のみで行います。簡易書留郵便により、下記宛お送り下さい。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7

一般財団法人 自然環境研究センター内

鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局

※ 郵送する封筒には、必ず「鳥獣保護管理人材登録事業登録申請書在中」と記入して下さい。

〔 5 〕 登録要件

◎ 鳥獣保護管理調査コーディネーターの登録要件

① 鳥獣保護管理の専門的な知見に係る要件

提出された課題小論文その他の添付資料について、鳥獣保護管理に関する計画等の調査に関する十分な知見が認められること。

② 鳥獣保護管理の実績に係る要件

次のア) 及びイ) を満たし、かつ、鳥獣保護管理に関する計画等の調査に係る経験年数の合計が令和4年3月31日の時点で5か年度以上あると認められること。

ア) 各種調査(直接観察、痕跡調査、捕獲調査、植生調査、行動調査、生息環境調査等)の実務経験を有する。

イ) 調査の設計から報告書の策定等まで主体的に取り組んだ経験がある。

※実務経験年数は、通算年数で計上しますが、下表の通り、同一期間内に複数の業務を実施していた場合、重複している期間は個別に計上せず、一つの期間としてカウントします。講師等の短期間の実績も、年度中1回の実績がある場合は実績年数としてカウントされます。

判定例	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	申請年度
実績が5年以上と判定される場合	単年で終了する実務経験を5年以上有している	実務経験①	実務経験②		実務経験③	実務経験④	実務経験⑤	
	複数年にわたる実務経験を5年以上有している	実務経験①						
	同一期間内に複数の業務を実施しているが、5年以上有している	実務経験①		実務経験②		実務経験③		
実績不足と判定される場合	複数の実務経験を有するが、5年に満たない	実務経験①		実務経験②				
	同一期間内に複数の業務を実施しているが、5年に満たない	実務経験①		実務経験②				
	実務経験は5年であるが、募集年度期間は含まないため、4年と計算する	実務経験①				実務経験②		

←→ 重複する期間は個別カウントしない

〔 6 〕 対象鳥獣

審査対象鳥獣は、イノシシ・ニホンジカ・クマ類・カモシカ・ニホンザル・カワウ・外来鳥獣です。登録にはこれらの鳥獣で計5か年度以上の実績が必要です。審査対象鳥獣以外には、ホームページに掲載される登録簿のその他の欄に「管理」が必要とされる鳥獣（タヌキ・アナグマ・カラス等）を追記することができます。ただし、その他に記載する鳥獣においても1か年度以上の実績が必要であり、かつ登録時の経験年数には含まれません。

※外来鳥獣の定義は「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」に基づきます。

※鳥獣は哺乳類及び鳥類に限ります。

〔 7 〕 審査方法

審査会によって書類審査を実施します。提出された申請書およびテーマに沿った小論文、または連携する民間資格等の登録証明書類のコピーから所定の要件を満たし、鳥獣保護管理に係る高い技術を有していると認められた者を鳥獣保護管理の専門家等として環境省自然環境局に備える登録簿に記載します。

申請書のご記入の際には記入要領（P16以降）を参考にし、記載内容に不備や不足がないようご注意ください。

〔 8 〕 課題小論文

＜ 論文 テーマ ＞ 鳥獣保護管理調査コーディネーター専用

あなたがこれまでに携わった、鳥獣保護管理に関する計画等を策定するための調査及びモニタリング調査の事例について述べて下さい。その際、その事業背景を踏まえた調査の目的と重視した点が何であったか、どのような課題があり、どう対処したかなどについて具体的に記述して下さい。

- ☞ 論文の事例は、様式 1-1で選択した対象鳥獣について記述して下さい。
- ☞ 論文は1, 500字以上2, 000字以内にまとめて下さい。句読点は字数にカウントしません。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文の最後に添付して下さい。論文タイトルは形式自由、字数としてカウントはしません。
- ☞ 冒頭に総字数、専門分野、論文タイトルを記入して下さい。
- ☞ パソコン又はワープロを使用する場合は、できるだけ1ページにつき「1行30字、40行（1ページ1, 200字）」とし、A4サイズ縦判用紙に横書きで作成して下さい。
- ☞ 手書きの場合は募集要項をコピーして作成して下さい。
- ☞ 複数の専門分野を申請される場合は、該当する専門分野それぞれについて課題小論文を提出して下さい。
- ☞ 小論文の書き方ポイントについてはP24参照。

〔 9 〕 注意事項

- ☞ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業は、法律に基づく国家資格制度ではありません。
- ☞ 登録者について活動の場を保証する事業ではありません。
- ☞ 登録者として鳥獣保護管理活動を行う場合、謝金等の必要経費は登録者に助言等を依頼する者の負担です。必要経費等の諸条件は、両者間で直接調整して下さい。
- ☞ 登録後に申請書及び証明書等の提出書類に虚偽の記載が認められた場合には、登録を取り消すことがあります。
- ☞ 受理した申請書等の書類は、理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- ☞ 申請後、氏名、住所、勤務先、電話番号に変更が生じた場合は、申請書を変更内容がわかるように修正の上、「(4) 応募方法◇送付先」に簡易書留郵便によりお送り下さい。（普通郵便やFAXは不可）
- ☞ 申請書等に不備や不足がある場合は無効となることがあります。この募集要

項の最終ページにある提出書類チェックシートを利用して必ず提出書類をご確認下さい。

〔 10 〕 個人情報の取扱いについて

当省では、申請者から提供される個人情報について、下記のとおり取扱います。

1. 個人情報の利用目的等

申請書類に記載された情報は、審査等に係る連絡及び登録者に助言等を依頼しようとする者（以下「利用者」という）に所定の情報を提供するために利用します。

環境省自然環境局に備えるデータベースには、登録者に係る氏名、生年月日、連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス等）、所属先（住所、電話番号、電子メールアドレス等）、現住所（住所、電話番号、電子メールアドレス等）、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理の活動経歴等の情報が記載されます。

データベースに記載された登録者の情報のうち、登録者に係る氏名、連絡先の名称と役職、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理の活動経歴等の情報については、ホームページ等により公表いたします（実際にどのような情報が公表されているかは、以下のホームページでご確認下さい）。

※「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」鳥獣プロデータバンク登録者一覧

<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1-1/index.html>

また、登録者の連絡先については、利用者が利用申請書を鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に関し情報を提供します。

2. 利用及び提供の制限

当省は、個人情報を利用目的以外に利用しません。また、法令に基づく場合その他特別の理由のあるときを除き、第三者に提供しません。

3. 安全確保の措置

当省では、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。審査の結果、鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合の個人情報は適切に管理します。登録要件を満たさない方の個人情報は、登録の対象とならなかった旨を通知後に廃棄・削除します。また、申請書類一式は返却しませんので予めご了承下さい。

4. 業務委託

当省では、収集した情報について、その利用目的の達成のため、取扱いを委託する場合があります。その際は、個人情報 を適正に取扱っていると認められるものを選定し、契約等により個人情報保護に必要な事項を義務づけ、適切な監督を行います。

5. 個人情報の開示、訂正及び利用停止

収集した個人情報について、申請者本人より開示、訂正及び利用停止の請求があった場合、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第58号）の規定に基づき対応します。

〔 11 〕 登録期間及び更新

登録の有効期間は3年間です。必要に応じて活動実績等の報告書の提出を求めることがあります。登録の有効期間内に更新申請書を提出することで登録を更新できます。

〔 12 〕 問い合わせ先

◎ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局
〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7
一般財団法人 自然環境研究センター内
TEL：03（6659）6339
E-Mail：chojujinzai@jwrc.or.jp

◎ 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03（5521）8285

※ 審査結果に関する問合せには、一切応じられませんのでご了承下さい。

**鳥獣保護管理調査コーディネーター
登録申請書様式集**

様式第 1-1 号(第4条第 1 項関係)

*

写真

- 1.縦 36～40mm
- 2.横 24～30mm
- 3.本人単身胸から上

鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書
鳥獣保護管理調査コーディネーター

(ふりがな) ※氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(歳)
現住所	〒 電話番号 () 携帯電話 () e-mail:
所属先	所属先名 役職名 〒 電話番号: () e-mail:
※連絡先	連絡先名 役職名 〒 電話番号: () e-mail:
※対象鳥獣	<input type="checkbox"/> イノシシ <input type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> カモシカ <input type="checkbox"/> ニホンザル <input type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種() <input type="checkbox"/> その他()
※活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄

認定鳥獣捕獲等事業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーについて
<input type="checkbox"/> 認定鳥獣捕獲等事業者（ <input type="checkbox"/> 事業管理責任者 <input type="checkbox"/> 捕獲従事者） <input type="checkbox"/> 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー（農林水産省）
鳥獣管理士、シカ捕獲認証について 証明書類を添付すること
<input type="checkbox"/> 鳥獣管理士 1級 <input type="checkbox"/> 鳥獣管理士 準1級 <input type="checkbox"/> シカ捕獲認証 DCC1
鳥獣保護管理法の違反歴の有無について
<input type="checkbox"/> 過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。
※鳥獣保護管理活動の経歴（150字程度）
<p>上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理調査コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請します。</p> <p>鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合は、記載した項目（氏名、連絡先の名称、役職、対象鳥獣、専門とする鳥獣（対象鳥獣）、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報）について、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>環境省自然環境局長 殿</p>

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、別紙1-3の実績で記載されている種類について記載すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(別紙1-3)鳥獣保護管理の調査に関わる実績

*

(1) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査に関する実績

行政機関が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の実施について、チェックを付ける。

- 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の調査員としての実務実績がある。
- 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の設計から報告書の作成までを主体的な立場で実施した実績がある。

(2) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績の詳細

令和4年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体の職員等として関わった鳥獣保護管理の計画等に関する調査(直接観察、痕跡調査、捕獲調査、植生調査、行動調査、生息環境調査等)を実施した実績について、内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。また、自身で報告書を作成した又は一部執筆した場合はチェックを付ける。

実績の詳細		*
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (〃 年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (〃 年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・当該様式は、適宜コピーする等して、追加してよい。 ・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。 	

(別紙1-3続き)

No

実績の詳細		*
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (〃 年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (〃 年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (〃 年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・当該様式は、適宜コピーする等して、追加してよい。 ・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。 	

鳥獣保護管理調査コーディネーター 登録申請書の記入要領

様式第 1-1号(第4条第 1 項関係)

鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書
鳥獣保護管理調査コーディネーター

*

写真

- 1.縦 36～40mm
- 2.横 24～30mm
- 3.本人単身胸から上

事務局記入欄。
記入しないで下さい。

3か月以内に撮影した写真を貼
ってください。写真裏に必ず氏
名を記入して下さい。

必ずふりがなを付し
て下さい。

(ふりがな) ※氏 名	ふりがな 鳥 獣 太 郎
生年月日	昭和・平成 40年 12月 2日生 (56歳)
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 携帯電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇
所属先	所属先名 株式会社〇〇〇センター 〇〇研究部 役職名 主任研究員 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇
※連絡先	連絡先名 株式会社〇〇〇センター 〇〇研究部 役職名 主任研究員 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇
※対象鳥獣	<input checked="" type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒクマ <input type="checkbox"/> カモシカ <input type="checkbox"/> ニホンザル <input type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種(<input checked="" type="checkbox"/> その他(タヌキ
※活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input checked="" type="checkbox"/> 東北 <input checked="" type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄

「所属先」には、所属先
名、所属部署、所属先住
所、電話番号、を必ず記入
して下さい。

都道府県等利用者から利用申込があっ
た場合、その利用者に「連絡先」の情報
を提供します。公表しても差し支えのな
い情報を記入して下さい。
※ホームページで公表されるのは、連絡
先名・役職名のみです。

別紙1-1(2)に記入した活動
の対象鳥獣のみを申請するこ
とができます。審査の結果、実
績が確認できないとされた鳥獣
は登録対象となりません。

<p>認定鳥獣捕獲等事業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー</p> <p><input type="checkbox"/> 認定鳥獣捕獲等事業者（<input type="checkbox"/> 事業管理責任者 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー（農林水産省認定）</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥獣管理士、シカ捕獲認証について 証明書類を提出してください。</p> <p>鳥獣管理士 1級 <input type="checkbox"/> 鳥獣管理士 準1級 <input type="checkbox"/> シカ捕獲認証 <input type="checkbox"/></p>		<p>取得しているものに、<input checked="" type="checkbox"/>を付けてください。</p> <p>鳥獣管理士、シカ捕獲認証を習得している方は証明書のコピーを提出してください。</p>
<p>鳥獣保護管理法の違反歴の有無について</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。</p>		
<p>※鳥獣保護管理活動の経歴（150字程度）</p> <p>これまで行ってきた鳥獣保護管理に関する主な経歴等を150字程度に要約して記載して下さい。ここに記載された事項は、登録された場合に公表の対象となりますので、公表しても差し支えない事項について記載して下さい。</p>		
<p>上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業に申し込みます。</p> <p>鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。</p>		<p>（1）実績に関する事項については、鳥獣保護管理調査コーディネーター申請書添付資料（別紙1-3）に記載の上、必ず申請書に添付して下さい。</p>
<p>令和●●年 ●●月 ●●日</p> <p>氏名 鳥獣 太郎</p> <p>環境省自然環境局長 殿</p>		<p>印</p>

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、別紙1-3の実績で記載されている種類について申請すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

(別紙1-3)鳥獣保護管理の調査に関わる実績

*

(1) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績
 行政機関が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の実績について、実績のある項目には☑を付けて下さい。 付ける。

- 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の調査員としての実務実績がある。
- 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の設計から報告書の作成等までを主体的な立場で実施した実績がある。

(2) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績の詳細

令和4年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体の職員等として関わった鳥獣保護管理の計画等に関する調査(直接観察、痕跡調査、捕獲調査、植生調査、行動調査、生息環境調査等)を実施した実績について、内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。また、自身で報告書を作成した又は一部執筆した場合はチェックを付ける。

実績の詳細			*
事業名			
履行期間	年 月 ~ 年 月 (____ か年度)		
発注機関			
受託者名			
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>	
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>	
事業名			
履行期間	年 月 ~ 年 月 (____ か年度)		
発注機関			
受託者名			
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>	
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>	
P11の「申請書」にある「対象鳥獣」に☑をした鳥獣について、実績の詳細を記述して下さい。			
備考	・当該様式は、適宜コピーする等して、追加してよい。 ・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。		

当該様式をコピーして、複数枚提出する場合は、必ず No を記入して下さい。

No. _____

(別紙1-3の続き)

実務経験の詳細		*
事業名	〇〇県ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画策定のための事前調査	
履行期間	平成 18年 6月 ~ 平成 20年 3月 (2 か年度)	
発注機関	〇〇県自然保護課	
受託者名	株式会社〇〇センター	
報告書タイトル	〇〇県ニホンジカ保護管理計画策定事前調査報告書	報告書作成: <input checked="" type="checkbox"/>
対象鳥獣	ニホンジカ	一部執筆: <input type="checkbox"/>
<p>業務内容の詳細について、自身の役割を明確にして記述して下さい。 例えば、「調査員及び責任者として事業を実施した」という場合は、 「〇〇県のニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画策定のための調査事業について、過去の推定個体数が過小評価であることが考えられるため、狩猟者の捕獲データを参考に糞粒法とライトセンサスのダブルチェックによる生息分布、生息密度を算出し、得られたデータから個体数算出を行う調査計画を調査責任者として設計した。ライトセンサスについては調査員としても実施した。調査結果は、上記タイトルの報告書として作成し、〇〇県第3次第二種ニホンジカ特定鳥獣管理計画に反映されている。」</p>		
対象鳥獣		
業務内容		
事業名		
履行期間	年 月 ~ 年 月 (か年度)	
発注機関		
受託者名		
報告書タイトル		報告書作成: <input type="checkbox"/>
対象鳥獣		一部執筆: <input type="checkbox"/>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・当該様式は、適宜コピーする等して、追加してよい。 ・事業の対象となった鳥獣の種類を明記すること。 	

課題小論文用原稿用紙（手書用）

*

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述して下さい。

総字数 _____ 字 専門分野 鳥獣保護管理調査コーディネーター
 論文タイトル _____

総字数、専門分野、氏名、論文タイトル
 を記入して下さい。
 氏名は記入しないでください。

1,500字以上2,000字以内にまとめてください。句読点は字
 数に含めます。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文
 の最後に添付して下さい。

- 知見審査では、以下の観点から審査を行います。
- ・読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか。
 - ・文字数の極端な過不足はないか。
 - ・野生鳥獣の保護・管理の現状についての基本的な理解ができているか。
 - ・鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する計画等について理解できているか。
 - ・順応的管理のあり方について述べられているか。
 - ・自らの関わった鳥獣保護管理に関する調査及びモニタリングの事例が適切か。
 - ・事業背景を踏まえた調査の目的、重視した点が述べられているか。
 - ・調査業務に従事する上で発生した課題がわかりやすく整理されているか。

(20×20)

知見審査（小論文）の書き方ポイント

知見審査では各専門分野で指定されたテーマに沿った課題小論文を提出していただきます。

各テーマをよく確認し、鳥獣保護管理を実施する上で必要とされる事項について、具体的な課題や対応等について記述してください。ここでは、各専門分野の知見審査の書き方のポイントをまとめます。小論文を作成する際の参考にしてください。

鳥獣保護管理調査コーディネーター

- ✓ 読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか
- ✓ 文字数の極端な過不足はないか
- ✓ 明らかな違法行為と読み取れる内容が含まれていないか
- ✓ 鳥獣の保護・管理の現状について基本的な理解ができているか
- ✓ 鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する計画等について正しく理解できているか
- ✓ 順応的管理のあり方について述べられているか
- ✓ あなたが携わった鳥獣保護管理に関する調査およびモニタリング事業の対象種は別紙 1-3（2）実績の詳細で記述した対象種について述べられているか
- ✓ あなたが携わった鳥獣保護管理に関する調査およびモニタリング事業の背景や目的、事業を実施する上での重視した点が述べられているか
- ✓ あなたが調査業務に従事する上でどのような課題があり、対処したかが具体的に述べられているか

提出書類チェックシート

提出書類チェックシート

◎申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。

- ・提出書類に不備や不足がないよう、郵送する前に必ず下記の表を利用して御確認下さい。
- ・特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。
- ・原本は片面コピーで作成してください。副本のうち、提出書類①～②は両面コピー可ですが、提出書類③（小論文）は片面コピーで作成してください。
- ・ホッチキス、感熱紙は使用しないでください。

番号	書類の種類	必要部数	チェック欄 ☑
①	申請書	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
②	申請書添付資料（別紙 1 - 3） ＜専門分野ごとに異なる＞	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
③	課題小論文または連携する民間資格・認証制度の証明書類のコピー	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
④	審査結果通知用封筒 （長形 3 号封筒に申請者の連絡先、氏名を記入し、84 円切手を貼付してください。）	1 部	<input type="checkbox"/>

※番号①～③の原本 1 セット、副本を 3 セットにまとめてご提出下さい。